

○幼兒預所に就て

倉 橋 生

此の間關西に遊んで、神戸の幼兒保育所を參觀した。忙しい間で、充分詳細に觀ることは出来なかつたが、それでも感想の上に得る所は少なくなかつた。

すべて世の事業は何でもそうであるが、殊に斯ういふ種類の事業は必ず二つの方面から見なければならぬ。一つは「人」の方面から見ることである。一つは「金」の方面から見ることである。「人」の方面から見れば神戸の保育所（余の參觀したのは宇治野と八幡の二ヶ所であつた）は、最も幸福のものといつてよからう。主任の方を始め、其他の方々が皆よく己を棄て、可憐な貧兒の爲に盡して居られる。「金」は比較的得られ易いものである。「人」は得られないとなつたら到底得られないものであ

る。神戸の保育所は此の點に於て第一の成功といはなければなるまい。正直にいへば、余は保育所に行く途中、たいそこに居る子供等のことだけ考へて、保母諸君のことは餘り考へて居なかつた。然るに足一と度び保育所に入つてからは、先づ保母諸君を見て感じてしまつた。余は普通の幼稚園に於て、保母諸君が、受持幼兒の粗忽した汚れものを始末し、洗濯せらるゝのを見て、保育室以外、遊園以外に、幼兒教育の貴さを感じて居たが、貧兒保育所を見ては、上には上のあることを思はずには居られなかつた。之れが義務で出来ようかと思つた。之れが體裁で出来ようかと思つた。併し、此の「人」を見るにつけて、「金」の點の不足が一層感ぜられざるを得なかつた。之れは單に神戸保育所の爲めのみならず、實に遺憾のことである。切角此の「人」を得て、もう少しどうかすることは出来まいものかと思つた。凡そ斯かる設備を訪ふた時は、施與する食物を調べて見ることに大

切であるが、時間を急いだので、それは出来なかつた。次には種々の設備に就て注意すべきであるが、此の設備たるや、先づ大體に於て（或る範圍内に於ては保母の奨勵にもよるが）經費の問題である。經費の見す／＼不十分なことを知つて居ては、その設備の不充分を云々するには忍びない。況んや此の「人」に對して氣の毒である。余の所感を露骨にいはしめれば、神戸の保育所は保育所の保育所といふ風に世から見られて居るらしい處がある。之れは飛んでもない間違ひである。神戸の保育所は神戸の社會的所有物である。神戸といふ社會が總が／＼で世話をすべきものである。此の理を一層よく神戸の人々に分つて貰ひ度いと思つた。そうすればあれだけのものを、もう少し理想的にするのは大した困難のことではない。無いものを新に興すのは困難である。殊に「人」を得るに於て困難である。折角あれだけ出来て居るものを、何とか一層の改良發達を希望にたえぬのである。

二

此の感想の序に、少しく幼兒預所の問題に就て考へて見度いと思ふ。但し吳々もお斷りして置くのは一般論をするのであるといふことである。神戸の保育所について批評をするのではない。

幼兒預所といふ語には別に確とした定義としてはない。従つて色々の意味に用ゐられて居るが、余は之れを佛蘭西の「クレツヘ」といふ意味に用ゐ度いと思ふ。即ち、家庭に於て、両親の外稼の爲に、養育の出来難い子供を晝間預る所といふ意味に用ゐ度い。そうして、孤兒院、感化院、養育院、及び普通の幼稚園と區別して置き度い。

幼兒預所に預るものは貧家の幼兒である。第一に必要なことは清潔である。貧は不潔の母とは、どうも免れ難い事實である。而して更に、其の不潔が貧人の上に及ぼす精神上、身體上の悪影響は實に恐るべきものである。貧人に一日でも清潔なる場所を與へることは、大いなる慈善である。其の

清潔が彼等の生活の上に多少の習慣を興ふる様に
なれば、それこそ大いなる教育である。貧兒は不
精者だといはれる。成程そうでもあらう。併し彼
等は第一不潔を不潔と感ぜ得ないのである。不潔
の中に生れて、不潔の中に育てられて、不潔が常
性となるのは已むを得ない。そこで、清潔の必要
や愉快を説いて聞かせたと分らない。清潔を経
験させるに限る。幼兒預所に於ける清潔問題は單
に其の場の衛生問題のみでなく、一層大いなる意
味に於て貧兒教育の第一要件である。
次に大切なことは衛生上の設備である。衛生上の
設備不十分で貧兒の預り所を企てようとするのは
文明上の大冒険である。元來幼兒預所に對する一
派の反對論者が最も有力なる論としていふ處は、
貧兒間の惡疾傳染にある。一體普通の幼稚園に於
ても、専門醫の検査が年に何度といふ風なのは、
舊式極まる遣り方である。況んや貧兒の集合場に
於ては、此の身體検査が一層も百層も嚴密且つ親

切でなければならぬ。そうして検査した以上は、
それに應ずる丈の處置をとらなければならぬ。
即刻にとらなければならぬ。内科的諸疾患に於て
もそうである。皮膚病科的のものに於て殊にそう
である。特に眼科諸病は最も注意を要する。今日
參觀して斯ういふ子供の居るのを見て質問すると
昨日検査をした。明日處置する筈であるといふ風
のことは屢々遭遇することであるが、そんな悠長
なことであつてはならぬ。
第三に大切なことは家庭殊に母親との連絡であ
る。之れを一般の教育に於て皆必要のことである
が、貧兒の預所に於ては更に、又別種の意味に
於て之れが緊要である、即ち母親を教育するとい
ふことに於て最も必要である。晝間幼兒預所のい
ろ／＼の骨折が夕から朝までの家庭でこわされて
仕舞ふのは常に殘念なことである。清潔の習慣で
も、衛生上の手當でも、貧家の母を教ゆるに幼兒
預所程適當な處はない。理屈ではなしに、お前

さんの此の子を、此の通りにといつて教へ得るのである。育児上の實物教育が出来るのである。勿論幼児預所の直接の任務は幼児の爲である。併しその社會的存在の自然的要求からいへば、貧人の家庭を教育するといふことを是非受持たせられるのである。又、それを併せ行はなければ直接の目的をも充分に遂げ得られない。それには目幾度といふ母の會も至極く有効である。併し、それと相俟つて、幼児をつれて来る朝、つれに來る夕、その零細の時間を巧に利用することを忘れてはならぬ。親達は忙しいことであらうが、五分早くつれて來させるのである。つれて歸る時五分ゆつくりさせるのである。而して此の十分の時間に、保姆は手と口とで彼等を教育するのである。幼児を預るだけで容易の忙しさではない。その上にそんなことまでと思はるゝ方もあるかも知れぬが、それはそうでない。彼等を教へるといつても何も講義をするのではない。たいつれて來て、たいつれて

歸る彼等の目を一寸開けてやるのである。手を一寸働かさせてやるのである。耳を一寸傾けさせてやるのである。一日十分、一ヶ月には五時間になる。必ずしも今夜は母の會だといつて、特別な準備をしたり、母親の方の用を差繰らせたりしないでも、五時間といふ大した教育が一寸した、心づかいで出来る。幼児が幼児預り所へ來て、その清潔な中に一日居て歸つて、我家の不潔が子供心にも氣になつて母の耳へ注意する處へ、母親は母親が朝夕、清潔な預所を見て成る程と目から我點するといふ様になれば、其の家庭は乏しいなりに段々と清潔にならざるを得ないのである。之れはほんの途上の感想に過ぎぬ。大切な幼児預所の多くの問題に就ては、他日を期して再び述べ度ひと思ふ。

○幼稚園の戶外運動器具

之れは大阪で聞いた話である。同市の某幼稚園で、